

月刊



平成23年1月1日発行 通巻180号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・会長年頭のご挨拶 …………… 2
- ・「近畿あーきてくと2011」開催
のご案内 …………… 3
- ・女性部会『先進地、長浜の
再活性化―体験型宿泊施設
を味わう』 予告 …………… 4
- ・Doシリーズ No.57「自然環境
を考慮したライト建築の見学と
最新環境対応型W発電の研修」
のご案内
- ・香川県建築士会青年部会有志
ご一同様 ご来訪 …………… 5
- ・新入会員のご紹介
- ・青年部会事業 あーき塾2010
高木住道場「美しい住まいの
あかり」 報告 …………… 6
- ・青年部会 ベニヤドーム事業
「第5回ほかほかまつり」
- ・青年部会 近建青杯ソフト
ボール大会 報告 …………… 7
- ・新連載始まる!「あきんど号
ラリー参戦記」〈第1回〉
- ・支部だより …………… 8
大津支部/湖西滋賀支部
湖南支部・甲賀支部
- ・1月の暦 …………… 10
- ・田中みきおさんの中米見聞録
〈最終回〉
- ・滋賀の街道



滋賀の街道
 (第16回)

西近江路「大溝」

戦国時代から安土桃山時代にかけて、大溝（現在の高島市勝野）の地は、浅井氏の家臣である磯野員昌（かずまさ）や津田信澄（信長の甥）が治めていたが、江戸時代になると、分部光信が伊勢上野から移封され、2万石で大溝藩を立藩した。

西近江路は、北小松を過ぎて白髭神社のあたりでは、山と湖に挟まれた狭隘な道となるが、大溝から先は萩の浜、近江白浜と続く白砂青松の砂浜が広がりを見せる。城跡の近くには大溝港があり、この地は水運で栄えた宿場町でもある。港は現在も漁業基地やマリナーとして利用され、少し南には警察の水上派出所も設置されており、琵琶湖の中央部を管轄する拠点となっている。

旧道はバイパスができるまでは国道161号として供用されていたため、道路拡張などで往時の姿をとどめる建物は少ないが、宿場の中心部であったと思われる周辺には、古い商家が残されており、その内のいくつかは地元有志によるリフォームを経て、「びれっじ」という観光交流施設として生まれ変わっている。

写真は、その街並みの中でもひととき存在感を示す「福井弥平商店（造り酒屋）」の姿である。

「年頭のご挨拶」



(社)滋賀県建築士会

会長 山本 勝義

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに初春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。昨年は、滋賀県建築士会に格別の御支援、御協力を賜り、誠に有難うございました。本年もどうぞ宜しく願い申し上げます。

昨年は経済情勢も、国際情勢も大変な一年でございましたが、本年こそは少しでも上向きに、また前向きに総ての物事が、進んでいくことを期待したいものであります。

さて、織田信長が終生好んで舞ったとされる「敦盛」(幸若舞)の中に「人間50年」で始まる有名な一節がございますが、私も50代半ばとなりました。また、『論語』の為政第二に「吾十有五にして学に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず、五十にして天命を知り、六十にして耳順い、七十にして心の欲する所に従えども、矩を踰えず」という孔子の大変有名な言葉がございます。これは人間が発達、成長していく上で重要な教訓、道標となることから現在でも広く知られております。私は未だ、「天命を知りえず」このままいきますと「六十にして耳順い」の境地には到底たどり着けそうもない小人のままの人生のようであります。

同じく『論語』に「曾子曰く 吾、日に吾が身を三省す」とあります。今年こそは、この言葉を、肝に命じ、少しでも成長していきたいものであります。東洋思想では、年を取るほどに立派になっていくことが、理想とされています。しかし、「老朽」、「老醜」という言葉が示すように、老いというのは、否定的に見られたりもします。やはり、「老熟」、「老練」という非常に魅力的な言葉もあります。年を重ねるたびに、人間が成熟し、練れていく。そういう生き方を目指していきたいと思えます。年の初めに自分の未熟さを知り、反省もして、新しい年に、新たな思いで、この一年を成長の一歩としていきたいと考えております。

昨年は、耐震判定評価業務をスタートさせて頂き、また4月からは「滋賀県指定登録機関」として、全ての一級、二級、木造建築士の皆様のお世話もさせて頂くことになりました。加えて、国土交通省の補助事業である「建築行政マネジメント事業」にも取り組みを始め、滋賀県建築士会としての価値をより一層高めていく新たな取り組みとして、種々、進めてまいりました。建築士法に基づく、「定期講習会」も数回開催させて頂き、多くの建築士の皆様に受講して頂きました。また、6月には「建築士の日フェスティバル」、11月には「近畿建築祭」など多くの会員の皆様や、関係機関のご協力で盛大に開催できました事は、たいへんありがたく感謝致しております。そして、日本建築士会連合会が本年度より実施しました、第1回「建築甲子園」において、本会が推薦した、滋賀県立安曇川高校の生徒さんの作品が、全国優勝のグランプリを獲る快挙を果たすこととなり、大変うれしく、すばらしいことで、感激いたしました。今振り返れば、めまぐるしい一年でもありました。

そして、今年、昭和26年に本会が創立されて、60年の節目を迎える年に当たります。「公益法人化」への最後のとりまとめや、全ての建築関連技術者を対象としたCPD制度のオープン化の運用など、また新しい組織づくりが必要となってまいります。将来を見据えて、関係機関との連携も深めながら、一歩ずつ、前へ推し進めてまいりたいと考えております。

常日頃からの、役員の皆様のお支えには、心より感謝致しております。さらには、今後も、会員の皆様方のご協力と、ご理解がなければ、新しい取り組みも、進めていけないことばかりでございますので、本年もなお一層のご支援を賜ります様、お願い申し上げ、新年のご挨拶と致します。



第18回地域実践活動発表会「近畿あーきてくと2011」開催のご案内

再生の時代 ともに考える「まち」と「暮らし」

近畿あーきてくとも本発表会で18回目を迎えることになりました。

毎年、様々なテーマにおいて各発表者が発表されてきましたが今年のテーマは「再生の時代」ということで分野において昨今叫ばれている「再生利用、原点回帰、地域再生」という言葉と当てはまる時代の現状を反映したものととなりました。

建築分野においても私達は戦後、高度成長期を迎え日本中に高層マンションが建ち、又、高気密住宅がもてはやされる等、技術革新の恩恵を受けてきました。

ここで一度立ち止まり、サブテーマでもある「ともに考えるまちと暮らし」を私達と一緒に共有して頂ければ幸いと存じます。

今年は本会青年部会運営委員会の副委員長でもあります木村敏氏に「歴史街道と山村集落の一体的再生」というテーマで発表して頂くことになりました。

一人でも多くの建築士のご参加をお待ちしております。



昨年の近畿あーきてくと会場風景

日 時 2011年2月5日(土) 開場12:30 開演13:00

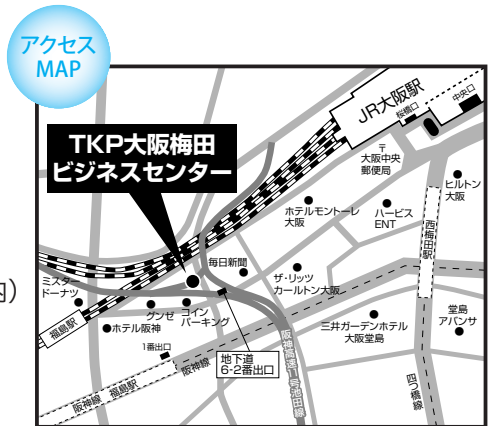
場 所 **TKP大阪梅田ビジネスセンター** (大阪市福島区福島5-4-21 TKPゲートタワービル)
 (アクセス) JR「大阪駅」の地下街を通り、6-2番出口出ですぐ。
 JR環状線「福島駅」徒歩2分 JR東西線「新福島駅」徒歩5分
 ※駐車場はございませんのでご注意ください。

定 員 200名 (申込先着順) 参加費/500円 (資料代) 学生無料 交流パーティーは有料

プログラム
 第一部 発表会 13:20～
 第二部 講演 15:45～
 第三部 質疑・応答 16:50～
 交流パーティー 18:00～
 会場:TKP大阪梅田ビジネスセンター
 ※有料 参加費/5,000円 (学生2,000円)

主 催 近畿建築士会協議会青年部

お 申 込 み 近畿建築士会協議会青年部事務局 (大阪府建築士会内)
 までFAX又はメールにてお願いします。
 TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103
 mail:info@aba-osakafu.or.jp



第18回地域実践活動発表会 近畿あーきてくと2011参加申込書

氏名				士会名・支部名(会員のみ)	
住所	〒 建築士会員 ・ 一般 (どちらかに○をつけて下さい)				
勤務先・学校名		電 話			
交流パーティー	<input type="checkbox"/> 参加		<input type="checkbox"/> 不参加		

※お書き頂いた個人情報は、内部資料に留め、他の目的に使用することはありません。

『先進地、長浜の再活性化—体験型宿泊施設を味わう』 —町屋修復再生その後体験および新年会開催のお知らせ— 湖西高島支部・彦根支部・湖北支部協賛

長浜市中心市街地再生事業計画2009に基づく「町屋修復再生」の実例である、長浜市の「季の雲ゲストハウス・季(TOKI)」にステイ(宿泊体験)しながら、みんなで女性部の今後について語り合おうという企画を考えました。

「季の雲」は新しい形の滞在型の宿泊施設であり、一棟を一日単位で借り上げて宿泊いただくという形になっています。

通常の工事見学や完成見学会ではなく、その後の体験してみるという事が、ユーザー目線を学ぶ上で大切な事ではないでしょうか。

今回は、こちらの施設の施工に携わられました、(株)材光工務店の社長であり、建築士会の副会長でもある伊藤光男氏にご参加いただき、工事に関わる御苦勞や新たな発見についてご講演をいただきながら、長浜の文化や町並みについて直に体験していただきたいと考えています。

寒い季節ですので、講演後は「季の雲」で、鍋を皆で囲みながら、来年度の事業計画や今後の女性部活動について語り合う新年会を行いたいと思っています。

大津や南の方での事業には、遠くてなかなか参加できないとおっしゃる高島や彦根、湖北の方にも、参加しやすい機会となればと考えています。これを機会に女性部の活気あふれる活動に触れてみてください。

◆開催日：平成23年1月22日(土)～23日(日)

◆開催場所：季の雲ゲストハウス・ステイ・季(TOKI)

◆開催時間：(1) 講演 22日(土) 18:30～19:30

長浜市元浜町14-21

「町屋再生 季の雲について」

<http://tokinokumo-guesthouse.com/>

(株)材光工務店 取締役社長 伊藤光男氏

◆参加費：15,000円(22日～23日 講演会・宿泊・新年会参加)

(2) 講演後、新年会

5,000円(22日 講演会・新年会のみ参加)

当日徴収します。

◆申込締切：平成23年1月14日(金)

Doシリーズ
No.57

女性部会主催

「自然環境を考慮したライト建築の見学と 最新環境対応型W発電の研修」



大阪ガス株式会社協賛

ライト建築の見学と大阪ガスショールームにての体験研修を行います。フランク・ロイド・ライト氏設計のヨドコウ迎賓館(旧山邑邸)と愛弟子遠藤新氏設計の甲子園会館(旧甲子園ホテル)を見学します。見学後、大阪ガスショールーム「ディリパ千里」にてW発電(太陽光発電・エネファームについて)の研修をし、最新のガスコンロを使った調理体験を行います。ヨドコウ迎賓館では例年この時期に、旧山邑邸8代目当主山邑太左衛門の発注により、名匠3代目大木平蔵の手掛けた雛人形が特別展示されます。盛沢山の1日をご一緒に過ごしませんか。ご参加をお待ちしています。

●日時：平成23年2月26日(土) 8:30集合 8:40出発

●集合場所：大阪ガス草津ショールーム「ディリパ滋賀」 草津市西大路町5-34 TEL：077-566-0949

●見学場所：ヨドコウ迎賓館：芦屋市山手町3-10

甲子園会館：西宮市戸崎町1-13 武庫川学園内

大阪ガスショールーム：吹田市千里万博公園1-1

●募集定員：40名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

●参加費：会員 1,000円 一般 2,000円(昼食含)

●C P D：6単位

●タイムスケジュール

8:30	8:40	10:00～14:30	15:30～17:00	18:40
集合	出発	建物見学と昼食	ディリパ千里にて研修	ディリパ滋賀 到着後解散

- 申込方法：FAXで申込みの上、参加費の入金をもって申込受付とさせていただきます。
- 振込先：(社)滋賀県建築士会 郵便振替 口座記号番号 01010-9-21890
 ※振込手数料は参加者負担でお願い致します。
 ※参加費振込後のキャンセルによる返金はありません。
 ※必ず個人名の記入をお願い致します。
- 申込締切：平成23年1月24日(月)



ヨドコウ迎賓館 外観



ヨドコウ迎賓館 内部



甲子園会館外観



甲子園会館内部

女性部会事業 共通申込書			
支部	お名前	連絡先TEL (当日連絡用)	参加希望日
支部			<input type="checkbox"/> 長浜1月22日のみ <input type="checkbox"/> 長浜1月22日～23日 <input type="checkbox"/> DoシリーズNo57
支部			<input type="checkbox"/> 長浜1月22日のみ <input type="checkbox"/> 長浜1月22日～23日 <input type="checkbox"/> DoシリーズNo57

お申し込みはFAXにて・・・(社)滋賀県建築士会 事務局 <FAX.077-523-1602> (お問い合わせは... TEL.077-522-1615)

近畿建築祭 滋賀大会 外伝

香川県建築士会青年部会有志ご一同様 ご来訪

近畿建築祭滋賀大会彦根会場のエクスカージョンに香川県建築士会青年部会有志の方々もご参加いただきました。11月20日(出)から21日(日)までの2日間で、近畿地方を旅行されるご予約の中、この大会を知っていただき、木村青年委員長、多喜端西讃支部青年部長様はじめ8名のご参加で彦根城の屋形船周遊や楽々園の改修現場など見ていただきました。エクスカージョン終了後、香川県の8名様と彦根の四番町で本県の清水青年部会長はじめ青年部会3名とでわずかな時間ではありましたが、懇親会も開催しました。

「彦根を旅行のコースに入れた理由のひとつは、実は『ひこにゃん』目当てだったのですが、楽々園の改修現場の見学会は非常に良かったです。勉強になりました。」といった感想を多く頂きました。また仕事の面や建築士会の活動などでいろいろな意見交換もでき、他府県との交流もできたのではないかと思います。

香川県建築士会青年部会の皆様どうもありがとうございました。

新入会員のご紹介

支部	氏名	住所
湖東	細川英俊	福井市
湖北	鎌田一嗣	長浜市

平成22年度12月理事会承認分

青年部会は11月29日(月)、あーき塾2010を開催しました。今回は草津市立まちづくりセンターにおいて、大光電機株式会社大阪TACTチーフデザイナー高木英敏氏を講師に迎え、高木住道場「美しい住まいのあかり」講習会を開きました。迫力ある講習に参加者の皆様も最後まで聞き入ってしまい、アッという間の2時間でした。あかりのデザインは住む状況・住む人を考え、現場の照らし方によってシンプルな照明計画ができることを学びました。多くの会員外の参加者の方には建築士会のアピールにつながりました。多数ご参加していただいた皆様、ありがとうございました。今後も講習会を開いていきたいと考えております。皆様の興味のあることお聞かせ下さい。



青年部会は12月12日(日)大津市におの浜で開催された「第5回ほかほかまつり」に“ベニヤドーム&木のパズル”でコーナーとして参加しました。

このまつりは、国民に広く障害者福祉について関心と理解を深めてもらうとともに、障害者が社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に、積極的に参加する意欲と行動を高めるために設けられた『障害者週間』の趣旨に沿って開催され今年で5回を迎えたイベントだそうです。

そのようなわけで、今回、いつも木のパズルに参加してくれる子供さんの他、いろいろな方に木のパズルを体験していただけたのではないかと思います。

じっくり時間をかけながら根気よくパズルを製作していただいたご家族、ボンドが乾くまでの間、パズルに挑戦し、見事完成した方の「やったあ、できた!スッキリした!」と言って頂いたご感想と笑顔など、いつもより印象的でした。



去る11月27日午前2時より、京セラドーム大阪にて恒例の近建青杯ソフトボール大会が開催され、近畿各府県から建築士会の会員が集合し、熱い戦いが繰り広げられました。

今年は例年に比べ開催時間が遅く、メンバーの体調等心配されましたが無事に怪我もなく終了することができました。

試合の方は兵庫、大阪と順調に勝利しましたが、和歌山に惜敗。優勝というわけにはいかず残念な結果となりましたが、日頃の運動不足解消の他、近畿各府県の会員との交流という面ではよい機会になりました。

N.O



参加したメンバーです。



疾走するあきんど号

世界のラリーで活躍される辻本隆志氏(湖東支部)による新連載始まる!



あきんど号ラリー参戦記

家族キャンプから国際ラリーレイドへ

ラリーレイドと言えば最も有名なのがパリ・ダカールラリー。当時ファラオラリーと並び世界3大ラリーと言われたオーストラリアンサファリラリーに初参戦したのが1991年、私が36歳の時だった。初めてのラリーから今日に至るアジアンラリー参戦を通じて、ラリーレイドとはなにか、ラリー中のエピソード、その国々での思い出を伝えたいと思う。

今回はラリー参戦に至るきっかけを紹介しよう。中学時代の学校キャンプ(林間教室)に、たまたま怪我をしていて参加出来なかった私は、キャンプに憧れを持っていた。昭和61年、ラリーパートナーである高校時代の友人が四輪駆動車を買ったのがきっかけで、私もランドクルーザーの中古車を購入。当時はまだ四駆ブームでも無く、職場の通勤車を見てもジムニーが1台と私のランクルだけだった。休みになればあちこち家族キャンプに出かけた。私たちのキャンプは山でも川でも行けるところまで行き、日が暮れたらそこにテントを張る、翌朝まで1台も車が通らない事も良くあった。最近なら、クマに襲われそうだが・・・ある時、山の中でとても車が走れそうでないところを四輪駆動車が走っているグループを見かけた。トライアル競技の練習という事は解ったが、車を傷つけながら走っている姿が理解できず複雑な思いで見ている。しかし、気が付けば自分もその競技に参加し、デビュー戦は3位と言う成績。まだまだ競技人口も少なく、少し練習をすれば入賞できるのが楽しく、あちこち国内の競技に参戦していた。

あるイベントで、日本に初めてパリダカを紹介し、最多出場していた横田紀一郎氏(チームACP代表)との出会いがあり、その事がきっかけで海外の国際ラリー出場に「あこがれ」と、「夢」を持ち始めたのである。

今回は初めて国際ラリー参加が実現したオーストラリアンサファリラリー11日間8500kmについて紹介します。



2009年アジアクロスカントリーラリーゴール チェンマイ(タイランド)にて

大津支部・湖西滋賀支部

第6回おおつ塾開催

11月26日(金)、湖西滋賀支部さんと共催で 大津支部青年委員会は第6回おおつ塾『環境エネルギー&ストック再生』実験住宅見学会を開催いたしました。見学会は16名の参加者のもと、貸切バスにて大阪市天王寺区にある大阪ガス様所有のNEXT21、大阪府堺市にあるUR都市機構様所有の向ヶ丘第一団地の順で行いました。

NEXT21では都市部の一等地に“収益”を無視して野鳥が飛来できるよう、ふんだんに植栽化を進めた環境配慮の他、設備配管のフレキシブル化、次世代型エネルギーとして天然ガスから製造できる水素燃料電池の実験など、かなり積極的な試みがなされていました。今は上記のような実験などが高額で実用化には問題があるようですが、30年程後にはスタンダードになっているかもしれないという期待感を大いに感じました。

一方、向ヶ丘第一団地では、40～50年前前に建設された団地を実験的に改修したもので構造的検証の後、可能な限り広い空間を確保するよう壁を撤去したり、最上階を完全撤去して、建物を軽量化するに留まらず、屋上スラブを撤去し勾配天井にして開放感の獲得、当時の建築では高床となっていた1階部分の基礎部分を補強・土間コンクリートを設置することでバリアフリー化や大空間の確保、天井高さから来る圧迫感の解消など、いたるところで現代の技術や知識の痕跡が見受けられました。

近未来と過去への様々な実験や実証を試みた建物の見学会はご参加頂いた方々からも「良かった」「勉強になった」との評価を頂きました。

最後に企画、運営に多大なるご協力を頂きました大津市企業局様に厚く御礼申し上げます。



内さんに「設計者と大工の協働」と題した講演を行って頂きました。良い建物を造るために、日々考えておられる色々なこと、また、地元滋賀県産の木での家づくり、水中乾燥、四寸角挟み梁工法などに取り組まれている事例や思い等をお話し頂きました。

講演後は、宮内さんを囲んでの懇親会も開かせて頂き、講演会では聞けなかった「情熱大陸」の裏話なども聞かせて頂きました。

参加人数は決して多くはありませんでしたが、とても良い現場やお話をして頂きました。先人の知恵や技術を受け継ぎながらも現代的な考えを取り入れて造りあげるその技や人柄、宮内さんのパワーを少し受け取れた気がします。

湖南支部青年委員会では、こういった講演会等を今後も精力的に行っていきたいと思っております。

ご参加頂きました皆様、ありがとうございました。



甲賀支部

研修会を開催しました

平成22年11月5日(金)サントピア水口に於いて研修会を開催いたしました。

建築基準法改正に伴い今回は平成22年に制定され「既存建築物の増築等における法適合性の確認取扱い要領」等による増築の取扱いについての研修会を財団法人滋賀県建築住宅センターの川合氏を講師に御招きし、開催させて頂きました。参加者は約30人で日頃実務の中で法の改正は必須の内容として研修を受けられ、又その後、材料研修を左官材料とエクステリアを四国化成工業株式会社 の御世話で研修させて頂き、意義ある研修会となりました。



湖南支部

宮内寿和さん講演会『こなんあーき塾』開催

湖南支部青年委員会は、去る11月6日(土)に、草津市追分町にて「宮内建築」を営む宮内 寿和さんを講師に迎え、『こなんあーき塾「風景をつくる素材と技」～木と木組み』と題した現場見学会と講演会を開催いたしました。

午前中は甲賀市水口町で建築中の、間伐材を構造材として使用「挟み梁工法」による構造の現場を見学させて頂きました。

また、午後は草津市立まちづくりセンターに場所を移して、宮



滋賀・長浜



江・浅井三姉妹博覧会

会期 平成23年1月15日(土)～12月4日(日)

長浜黒壁・歴史ドラマ50作館は平成22年12月25日(土)先行オープン

好評

前売券発売中!!

江・浅井三姉妹博覧会会場への入館や、各会場への巡回バスに乗車できるチケットです。

前売券対象施設	通常 大人料金	通常 小中学生料金
博覧会会場 浅井・江のドラマ館	500円	200円
小谷・江のふるさと館	300円	100円
長浜黒壁・ 歴史ドラマ50作館	300円	100円
浅井歴史民俗資料館	300円	150円
小谷城戦国歴史資料館	300円	150円
博覧会バス (会場間シャトルバス)	500円	500円

上記施設入館・博覧会バス乗車の代わりに、平成23年1月5日(水)～1月30日(日)まで、長浜文化芸術会館で上演予定の長浜大衆演劇「浅井三姉妹の絆」の僕の家の観劇券としても使用できます。(期間中11日(水)と23日(日)は休演日)

前売券販売料金

通常価格を割引致します

~~2,200円~~ → 1,000円

※長浜市内の小中学生には、別途無料入場券が配布されます。

販売期間

平成22年9月15日(水)～平成23年1月31日(月)

有効期間

平成23年1月15日(土)～平成23年12月4日(日)

長浜黒壁・歴史ドラマ50作館は平成22年12月25日(土)から有効

販売場所

株式会社大村建築設計事務所
電話 0749-62-2651 FAX 0749-65-0351

1月の暦

1	土	先勝		13	木	先負		23	日	先勝	↓
2	日	友引	↓	14	金	仏滅	・支部長会議 ・建築関係五団体合同年賀会	24	月	友引	
3	月	先負	事務局年始休暇	15	土	大安		25	火	先負	
4	火	赤口		16	日	赤口		26	水	仏滅	
5	水	先勝		17	月	先勝		27	木	大安	青年部会運営委員会
6	木	友引		18	火	友引	・四役、委員長会議 ・情報広報委員会	28	金	赤口	
7	金	先負		19	水	先負		29	土	先勝	・四役、正副委員長会議 ・「未来の家」「未来のまち」 子ども立体作品展
8	土	仏滅		20	木	仏滅		30	日	友引	↓
9	日	大安		21	金	大安		31	月	先負	
10	月	赤口	成人の日	22	土	赤口	女性部会「長浜再活性化の実体験」				
11	火	先勝									
12	水	友引									

ドミニカ通信

田中みきおさんの中米見聞録

最終回

建築施工 construccion

便所では紙はトイレに流さないように、備え付けのごみ箱に入れてください。ここドミニカ共和国に到着してそんな指示を受けたことが懐かしい。理由は簡単だった。排水管が細いのである。図面でもそのように明示してある所はいかにもドミニカだ。そして排水は地下浸透であるところが多い。

建築工場の現場は、いろんな意味で日本とは異なる風景が多い。仮囲いのないのは当たり前。はるか遠くからでも建築工事現場の状態や進行具合が絶えずわかっていいのかも知れないが、建築中の建物には近づきにくい。いつ何が落ちてくるかわからないからだ。日本のように突然囲いが取れたらびっくりするような建物が現れたというのはないが。とにかく、妙な違和感を覚えるのである。

この国では1月に起こった隣国ハイチ地震の影響もあってか、只今、建築工事ラッシュだ。



仮囲いは下部に少し見えるだけである。建築工事の様子がよくわかっていいが…



拳銃を所持しての現場への立入禁止の表示である。発展途上国ならではの看板表示だ。



土工事であるが、土止がないのでびっくりした。雨が降っても崩れることはないようである。

「田中みきおさんの中米見聞録」は今回で終了となります。田中氏は昨秋無事帰国されました。ドミニカからの情報発信大変ご苦労様でした。今後も滋賀県建築士会での活躍をご期待申し上げます。

滋賀の街道

大溝は、西近江路では珍しい城下町の佇まいを残す街でもある。街道から少し西に入り込むと、当時の様子がかがうことのできる街並みが現れ、道のまん中に両側の家から利用していたという水路も残されている。

大溝城跡は、今では石垣が残されているだけでひっそりと目立たないが、半ば崩れかけた大きな石積みにも絡みつくと大木の根が、時の流れと世の無常を感じさせてくれる。



城下町

街道周辺



大溝城跡